

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年11月4日 (2010.11.4)

【公開番号】特開2009-75973(P2009-75973A)
 【公開日】平成21年4月9日 (2009.4.9)
 【年通号数】公開・登録公報2009-014
 【出願番号】特願2007-246094(P2007-246094)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 1/04 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 1/04 3 0 1 C

H 0 4 N 1/00 C

B 4 1 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月21日 (2010.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

クロック信号に同期して動作する複数の処理手段を備えるデータ処理装置であって、
 前記複数の処理手段のそれぞれは、
 前段の処理手段から出力されるデータ及びクロックイネーブル信号を入力する入力部と

、
 前記入力部により入力される前記クロックイネーブル信号が非イネーブル状態からイネーブル状態に切り替えられたことに応じて、当該処理手段がデータの処理を実行するためのクロック信号を発生させるクロック信号発生部と、

前記クロック信号発生部が発生させた前記クロック信号に同期して動作し、前記前段の処理手段から入力された前記データを処理するデータ処理部と、

後段の処理手段に対して前記データ処理部による処理済みのデータ及びクロックイネーブル信号を出力する出力部とを有し、

前記クロック信号発生部は、前記入力部により入力されたデータを前記データ処理部が処理したことに応じて、前記クロック信号の発生を停止させ、

前記出力部は、前記データ処理部による処理済みのデータの前記後段の処理手段への出力に先だって前記クロックイネーブル信号を非イネーブル状態からイネーブル状態へ切り替える、ことを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 2】

前記出力部は、前記データ処理部により処理した処理済みデータを前記後段の処理手段へ出力する準備ができたことに応じて、前記クロックイネーブル信号を非イネーブル状態からイネーブル状態へ切り替えることを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理装置。

【請求項 3】

前記複数の処理手段の少なくともいずれかが有する前記データ処理部は、前記前段の処理手段から入力されたデータを圧縮する圧縮処理を実行することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のデータ処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】データ処理装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、消費電力を抑えるデータ処理装置に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明に係るデータ処理装置は、クロック信号に同期して動作する複数の処理手段を備えるデータ処理装置であって、

前記複数の処理手段のそれぞれは、

前段の処理手段から出力されるデータ及びクロックイネーブル信号を入力する入力部と

、

前記入力部により入力される前記クロックイネーブル信号が非イネーブル状態からイネーブル状態に切り替えられたことに応じて、当該処理手段がデータの処理を実行するためのクロック信号を発生させるクロック信号発生部と、

前記クロック信号発生部が発生させた前記クロック信号に同期して動作し、前記前段の処理手段から入力された前記データを処理するデータ処理部と、

後段の処理手段に対して前記データ処理部による処理済みのデータ及びクロックイネーブル信号を出力する出力部とを有し、

前記クロック信号発生部は、前記入力部により入力されたデータを前記データ処理部が処理したことに応じて、前記クロック信号の発生を停止させ、

前記出力部は、前記データ処理部による処理済みのデータの前記後段の処理手段への出力に先だって前記クロックイネーブル信号を非イネーブル状態からイネーブル状態へ切り替える、ことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明によれば、クロック信号に同期して動作する複数の処理手段を備えるデータ処理装置において、データを処理している処理手段ではクロック信号が発生した状態とし、データを処理していない処理手段ではクロック信号が発生しない状態とすることで、データ

処理装置全体が消費する電力を低減することができる。